

{ 昭和34年7月20日 }  
{ 第3種郵便物認可 }

広報

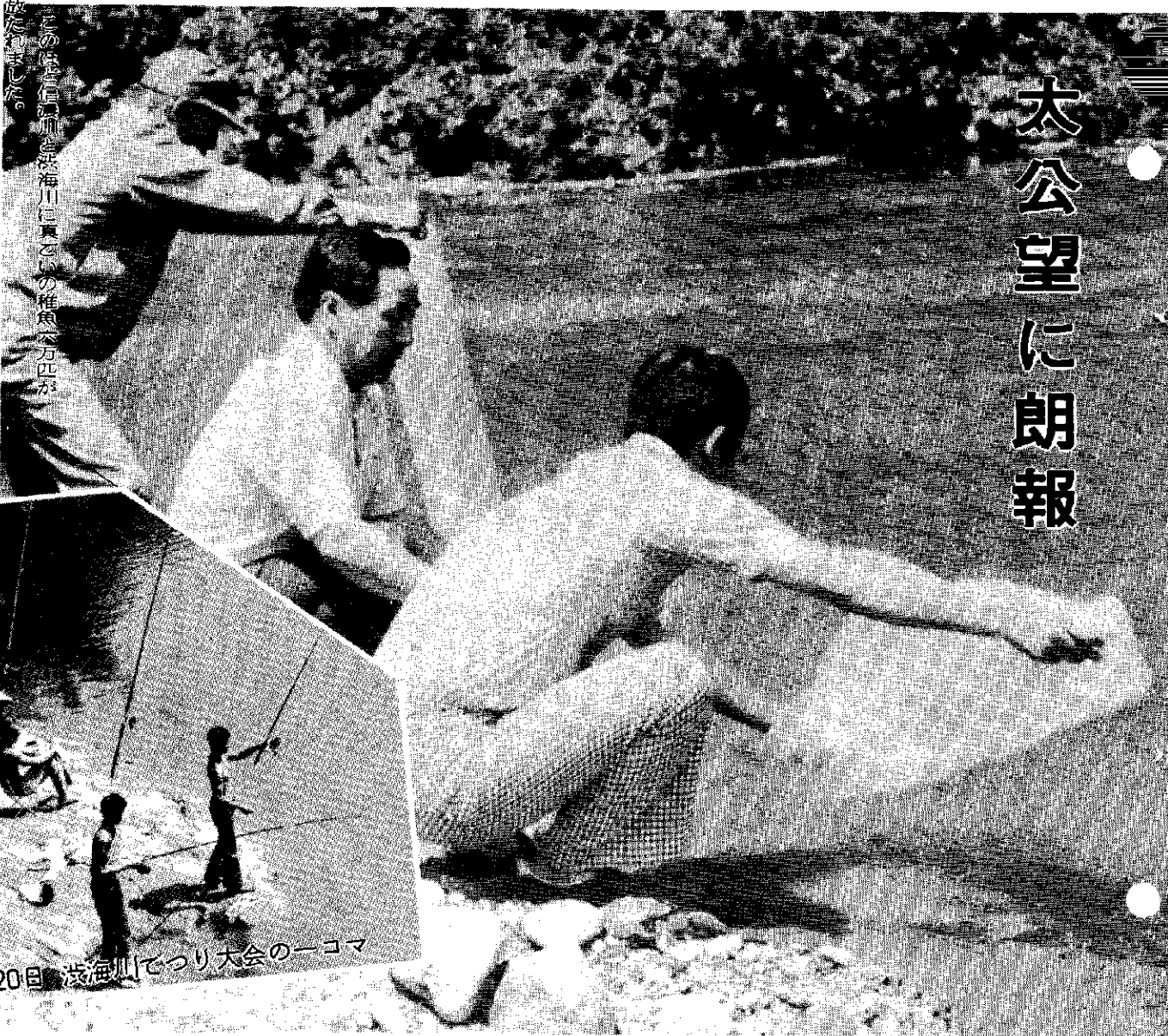
# かわにし

昭和51年 7/10 No.215

人口の動き	
7月1日現在	
男	5,144(+8)
女	5,218
計	10,362(+8)
世帯数	2,356(+4)
( )内は前月比較	

発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 定価 1部5円 印刷 白南風社

## 太公望に朗報



魚沼魚協及び仙田商工会の手によるもので、今後毎年放流する予定。  
大公望にとって、楽しい川がよみがえります。

この日は信濃川と海川に真夏の稚魚が万匹が放流された。

6月20日 茂海川でつり大会の一コマ

## 夏の交通事故防止運動

7月21日～8月20日まで

— 運動の重点 —

- 1, 夏季における安全運転の確保
- 2, 夏休み中のこどもの交通事故の防止
- 3, 過労、飲酒運転の防止

7月の休日救急医

11日	大島 医院	2-2957
18日	至誠堂 医院	2-3276
25日	十日町 病院	7-5566

◎ 配 ◎ と ◎ 相 ◎ 談 ◎

7月14日・21日・28日 8月4日・11日

# 議会報告

## モーター

### 類似施設建設に反対!!

#### 川中の給食棟建設なども契約

第四回の町議会は、先月二十三日から三日間定例会を開きました。

主な内容は、一般・特別会計の補正、四件にわたる工事請負契約関係など。

また、最終日は、折からのモーター問題などが一般質問として出され、三十名の傍聴のなかで大きな論戦が展開されました。

以下主な内容をお知らせいたします。

### 年度計 最終補正で 一般会計 十六億一千六百万円に

補正予算は、五十年度の一般会計、五十一年度の一般会計ほか四特別会計です。

五十年度の一般会計は、国県支出金及び町債の最終的な決定により行われたもので、この結果、歳入歳出とも十六億一千六百八十一万九千円の規模となりました。

一方、五十一年度一般会計の補正で主な追加事項は、先ごろ決った農村総合整備モデル事業に三百万円、二次構の農地造成改良事業に千五百六十二万円、町道改良舗装(霧条、伊友など)事業に四百八十五万円、町道の消雪パイプ(神社線、沖立線など)敷設に千八百二十一万円、土地取得費(農村公園、駐車場造成など含む)に二千三百十四万円、などとなっています。

なお、少額ながら、町制二十周年にまつわる式典費用なども、新規に計上されました。

歳入は、国県支出金に二千九百

八十七万円、町債三千六百八十万円などを中心としています。

工事請負契約は、

川中の給食棟建設ほか二件と、官倉橋災害復旧工事の契約変更(工期を七月二十六日まで一か月延長)です。

その内容は、

### 給食棟は5360万円 11月中には完成

川西中給食棟建設工事は、五千三百六十万円、丸山工務所が施行することになりました。工事はことし十一月いっばいで完成の予定です。

民有林道の開削が、千二十五万円、丸山建設に決りました。工事は十月末日まで。

昨年霧谷地内まで市ノ越林道として開削しましたが、継続事業として若ノ窪にかけて開削するもの

### 一般質問に六人

#### モーター問題全 員で反対の議決

一般質問には、六議員がたち、当面する町政について、町長の見解をたてました。

以下その要旨をお伝えします。

### 監査委員に 星名氏を再選

また、この議会では、任期満了を迎える町監査委員に、沖立の星名安信氏が再度選任されました。

なお、初日には、町商工会館の建設に関する請願が、商工会長な



二十三日、本会議開会前に、教育センター建設に百万円の寄付をされた十日町市、株式会社社長丸山松平氏に、総理大臣三本武夫よりのほう状が伝達された。

二十五日、本会議終了後の協

とから出され、関係の委員会に付託されています。

この会期での条例関係は

◎議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部改正

◎国民健康保険条例の一部改正

◎地下水採取の規制に関する条例の制定、などです。

◎山野田地内のグラウンドが手せまになっているので、山側に移転したい考えをもっている。その実現によっては、付近の環境を悪くした遊歩道も是非取り入れたい、と検討中である。

滋野一郎氏 誘致工場と町の責任について

町長 工場誘致は、町としても力を入れて来たことである。

企業も、従業員も、安心して仕事ができ、お互いに喜んでもらえるように、町としても監視はしなればならないと思っている。

戸田専治氏 議会議員を町政事務嘱託員に委嘱することについて

町長 従来の慣習もあり、部落行政が円滑に進められるなら、都合だと考えていた。県の指導や郡市内の状況を見ながら研究をしてみたい。

戸山哲次氏 ◎農業労働災害補償制度(仮称)の創設、◎モーター類似営業申請について

町長 ◎こうした制度があるのかどうか、私自身承知していない。調査のうえ、必要ならば国や県にも働きかけてみたいと考える。

(モーター関係は、次の質問とあわせて一括答弁)

桑原要雄氏 モーター類似の建設反対について

高橋弥太郎氏 モーター類似建設について

町長 モーター類似施設の建設については、皆さんがいわれるとおり好ましくないことだと感じている。第二、第三の類似施設の建設といったことも考えられるし、住民感情もあるもので、慎重に進めなければならぬ。

国民年金保険料は忘れずに納めましょう

今月は国民年金保険料の納入月です。納め忘れはありませぬか。

保険料を納め忘れのままにしておきますと、老齢年金をはじめ、障害年金、母子年金など、受けられるはずの年金がもらえなくなることがあります。

保険料は、必ず納期限までに納めるよう心がけましょう。保険料の納期は、毎年四月七月、十月、一月です。

納める保険料額は、それぞれの納期限月の先の三か月分です。例えば七月は、七月、八月、九月分を納めることになりま。保険料を納め忘れられているとだんだん額がかさみ日ごろから、納付には十分気をつけましょう。

しかし、法律どおりに申請がなされ、県で許可するならば、町は絶対に建設させないとする拘束力もないことである。

地元と業者で、納得できるまで誠意をもって協議してほしい。

町としても、保健所、警察など関係方面に十分申し入れを行い、できるなら中止の方向に進めたい考えである。

なお、このあと議員からの提案による「モーター施設に類似した建物の建設許可に反対する決議」を、全員で可決し、関係機関へ送付することにしました。

# 知事との

## 青空対話集会

### が開かれます

今年二十日に「知事との青空対話集会」が川西町で行われます。

君知事が直接へき地を訪れ、地域の方々と親しく語り合おうという趣旨のもので、日程としては次のようになっています。

☆第一会場(白倉小学校校庭) 午前十一時から午後〇時まで

☆第二会場(仙田小学校校庭) 午後一時三十分から二時三十分まで

☆第三会場(総合センター) 午後二時五十分から三時五十分まで

第一、第二会場では、地元の代表者各十名くらいから、要望を知らせていただきます。

### 増水時の警報

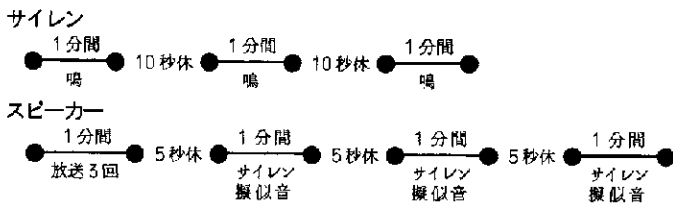
#### サイレンとスピーカー

#### 発電所から

このほど、国鉄信濃川発電所では、増水時の警報用に、従来のサイレンのほか、スピーカーも取り付けお知らせすることになりました。

町内の取り付け場所は、小根岸地内及び根岸地内の二か所です。上流ダムからの放流や、増水の際の調整などで放流する場合は、サイレンを下図のように鳴らします。

### サイレン・スピーカーの鳴らし方



上記二つの方法で警報します。

て活躍しておられます。私的制裁、差別待遇、酷使虐待など、人権問題でお困りの方は、お気軽に相談にお出かけください。

### 人権相談所の開設

今月22日・上野で

次の日程で、無料の人権相談所を開設します。身のまわりの問題で困っているようなことがございましたら、遠慮なく相談においでください。

☆とき 七月二十二日(木) 午前十時～午後三時

☆ところ 上野連絡所

☆相談担当者 町の人権擁護委員 及び法務局職員

### 離婚後も婚姻中の氏を

#### 名のることができません

このほど、民法等の一部を改正する法律が成立し、先月十五日から施行されました。

これによると、離婚のとき氏を改めた人は、離婚をしても離婚後三か月以内に戸籍法の定める届出をすれば、婚姻中に称していた氏を称することができません。

また、この法律施行前三か月以内(本年三月十五日以降)に離婚した人で、すでに婚姻前の氏にもどっている人も、本年九月十五日までに届出をすれば、婚姻中に称していた氏を再び称することができません。

詳しいことは、戸籍係でおたずねください。

### 河川功労者の

#### 和久井さん(木落)

#### 全国表彰を

木落の和久井精一さんは、先般開かれた日本河川協会の総会で、河川功労者として表彰されました。これは、長年にわたり信濃川治水事業に力を注がれていることにより表彰されたもので、過去にも建設省北陸地建局長などから表彰

されています。

### 新潟県

#### 警察官を募集

次により、明春四月採用の新潟県警察官A(大学卒)を募集しています。

☆採用予定人員 約二十五人

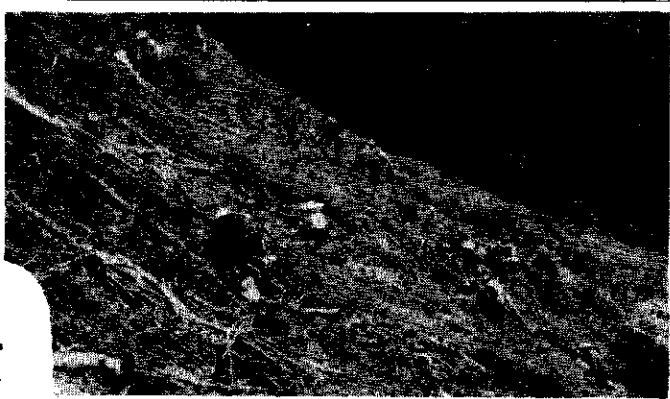
☆受付期間 今月三十一日まで

☆第一次試験 八月八日(日)

☆第二次試験 九月中旬(予定)

☆受験資格 昭和二十四年四月二日から三十年四月一日までに生れた男子で、大学(短大除く)を卒業した者、または来年三月三十一日までに卒業見込みの者

詳しいことは、近くの警察署、駐在所等へおたずねください。



今、林分改良開発事業がさかんです。ことしは41haほど植林の予定とか毎日30人以上の人たちが汗かくで地ごしらえを進めています。

先日町の身障者のスポーツ大会が開かれました。不自由なからだにもめげずみな大奮闘。魚釣りゲームの一コマです。



町内さんぽ

# ふえてきている非行少年

## 困ったときには

### 町の補導員にもご相談を!!

最近、非行や不良行為の件数がふえています。

昨年、十日町署管内で補導した件数は、非行が六十五件、く犯は(不良行為)三百六十四件にもなりました。

このうち、川西町では、非行三件、く犯四十六件を数えています。不良行為の主なるものは、夜遊び、喫煙、飲酒など、また、年齢別には、有職少年、高校生と続くほか、中学生、小学生も町内で五件もありゆるがせにできません。

## 戸籍の窓に關心

室島 高橋トミさん(55)

▲忙がしいこともあって、全紙面に目を通さないときも……

▲やっぱり戸籍の窓が一番の関心事、共同作業の仲間とも、結婚や死亡の記事などを話題にしている。

▲紙面のあり方……? 現在のままでよい。

(主婦)

# 読者に聞く



先般安全協会主催による優良無事故運転者の表彰式が行われ、総勢246人が受賞。

わけても15年以上の無事故者は72人をおぞえました。免許所有者は、ますますふえています。無事故、無違反の優良運転者の数をさらにふやしましょう。

それにしても、昨年の補導件数は、過去のピーク、昭和二十六年昭和三十九年を上まわるものだとお、ゆるがせにできないことだと補導員もなげいていました。補導員への期待と、家庭での注意や監視で、非行の防止を進めたいものです。

今月は社明月間です  
犯罪のない明るい社会をつくるため、皆さんに封筒募金をお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

善意をありがとうございます  
二件の香典返し

木島の市川辰平さんから、死亡された妻香さんの香典返しとして二万円。  
高原田の村山利夫さんから、死亡された父信治さんの香典返しとして三万円、それぞれ社会福祉協議会にご寄付いただきました。

## 十八日に

### 町保健衛生大会 があります

町公衆衛生推進協議会主催の、保健衛生大会が、次の日程で開催されます。

※期日 七月十八日、十時～三時  
※場所 川西中学校  
大会には、健康増進展をはじめ健康体操の指導、家庭での健康づくりと題しての特別講演(講師・

## 戸籍の窓から

うが市ーおすこやかに

- 野澤 三枝 保 長女 野口
- 小野塚俊介 謙治 二男 田中
- 登坂 豊 忠治 長男 赤谷
- 丸山 崇 幸夫 長男 根深
- 山家 拓朗 善夫 長男 木落
- 南雲 和美 一夫 二女 永公
- 田中 稔 米作 二男 発電所通
- 田畑 裕之 誠 長男 元町
- 丸山 一哉 一則 長男 下原
- 大平 真紀 剛士 二女 原田

野本都太郎先生)、児童、生徒による学習研究発表など、盛りたくさんの内容を用意してあります。多数ご参加くださいますようお願いいたします。

## 町の木・花・鳥 応募に感謝します

町の木・花・鳥にご応募いただきありがとうございます。応募総数は三十六名、内訳は、木が十種類、花は二十種類、鳥は十七種類でした。これをもとに、審議会などから検討をしていただく予定です。結果はもう少しお待ちください。

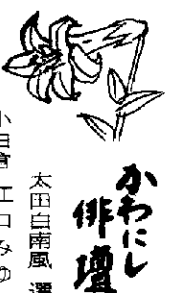
## 庁内人事

▽採用 / 七月一日付  
産業課商工係・平野 勝

数藤 拓也 春夫 長男 沖立

## たかさこ一円満に

- ◎新婦 小川 勲 発電所通り
  - ◎新婦 田口 洋子 十日町から
  - ◎新婦 増田 一男 室島
  - ◎新婦 福嶋真喜子 川崎から
  - ◎新婦 田村 貞一 赤谷
  - ◎新婦 小林 愛子 長野から
  - ◎新婦 羽鳥 孝雄 木落
  - ◎新婦 鶴巻 都 新発田から
- 昇天ーごめい福を祈る
- 村山 信治 高原田 四九
  - 高野 タネ 室島 五九
  - 茂野 長作 室島 七〇



かわし  
俳壇

太白白南風 選  
小白倉 江口みゆき

ヤゴ脱皮はじめし苗を残しけり  
ほうの木の花の香甘き夕小風  
笠重しみのも重たし梅雨つづく  
朝露のいちご指まで染りそう  
田植済みし夜のゆったりと刻移る  
小白倉 片桐玉章

夏帽の巡査も来たり麦の秋  
蝸に故郷の道のなつかしき  
水枯れて架橋工事やえごの花  
三領た かし

五年目の梅五つ六つ日々楽し  
療友の便りも梅雨をうとみをり  
新町 敏 子

ギラギラと五月の光白い道  
行く春を露台に俯りて惜しみけり  
元町 金子 鉄平

夜の雷のそれきり曇り戻りけり  
松風園 南雲 文幸  
蟬の声ひとすじ流れ梅雨明るる  
仙田 齊木 定芳

噴水に乱る餌に寄り錦鯉  
ふきのとう会員作品

清水よしを  
梅雨つづく朝な夕なに渡る畦  
清水ちい  
紫陽花の根分けしてまた色浅く  
上村 克子  
梅雨晴れのグラウンドに満つ大歓声  
丸山 与喜  
若葉かけ映る梅雨路を娘の家へ  
清水 良家  
紫陽花の色濃くなりて雨上る  
ふきのとう七月例会  
十九日 夜七時三十分より  
総合センターです